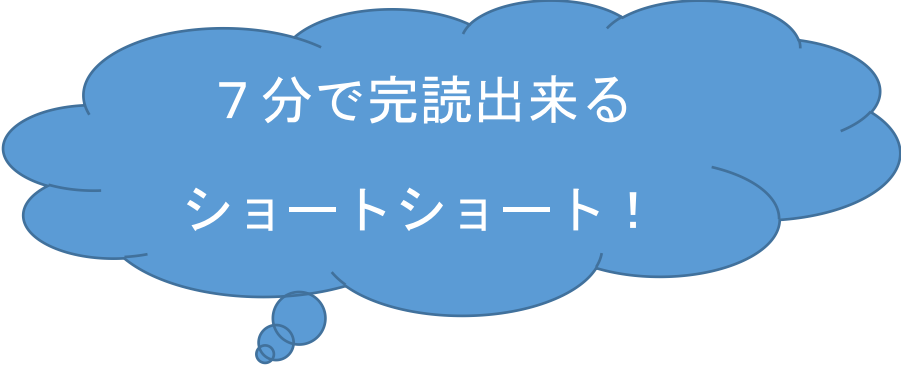


【R 1 8】ノベル

〔お口が臭いと言われた美人女教師、
男子に全裸お仕置きをする〕
～美人女教師の会話形式版～

作：七条右京



7分で完読出来る
ショートショート！

坂本彩は、〇〇学園の人気美人女教師。

最近、初めて日本酒を飲んだ彩は、すっかり日本酒にはまってしまった。

ここ毎晩の様に、日本酒と日本料理を堪能した。

その為か、彩の口臭が気になるくらい臭くなっていた。

ある日、宿題を忘れた男子生徒に、職員室で説教をしていると、「先生、お口臭い」と、職員室のみんなに聞こえる様に言われてしまう。

プライドを傷つけられた彩は、激怒して男子生徒を生徒指導室に連れて行き、全裸にして体罰を与える。

坂本彩：

「なによ」

「さっき、みんなに聞こえる様に、お口臭いだなんて、全く失礼しちゃうわね」

「私、口臭い女だと思われたじゃないの」

「傷ついたわよ」

「どうしてくれるのよ」

「私、許さないわよ」

「君に、お仕置きをするわ」

「なんか文句でもあるの？」

「いいわよ、それでも」

「内申書に、なんて書こうかしら」

「分かればいいのよ」

「さあ、それじゃあ、服を全部脱いで、裸になりなさい」

「なに？」

「私、恥ずかしい思いしたのよ」

「だから、君にも同じ様に、恥ずかしい思いをして貰わなくちゃね」

「そうよ、制服を脱いで」

「ワイシャツも」

「シャツも脱いで」

「上半身裸になったわね」

「今度は、ズボンも脱ぐのよ」

「そうよ、次はパンツよ」

「パンツも脱ぎなさい」

「ほら、どうしたの？」

「恥ずかしい？」

「君、私の側に来なさい」

「ビンタよ」

「痛いわよ」

「歯を食いしばりなさい」

彩に往復ビンタをされる男子生徒

「分かればいいのよ」

「初めから、そうしてればいいのに」

「いいわ、全部脱いだわね」

「ほら、前を手で隠さない」

「気を付けの姿勢よ」

「ふーん、高校生にしては、いいカラダしてるじゃないの」

「ここの毛も、こんなに生えてて」

「おちんちん、意外とおっきいのね」

そう言い、男性器を指で弾く彩。

痛そうにして、顔をしかめる男子生徒。

「痛かったかしら？」

「そう、痛いよね」

「もっと弾いてあげるわ」

「ほら、どう？」

痛そうな顔をしている男子生徒を、面白く見つめながら、男性器を指で何回も弾く彩。

「なに、そんな声出してるの」

「男のコなんだから、我慢しなさい」

「ほら、どう？」

さらに、男性器を指で何回も弾く彩。